



No.193

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭	時代とともに変わりつづける「みのおポスト」…… 1	カレンダー	2023年10月の comm cafe ランチカレンダー…… 5
告知	「多民族フェスティバル2023」、開催します！…… 3	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ…… 6
コラム	「アートの小箱」フランス旅行記②秘さない花…… 4	編集後記	…… 8

発行開始から30年！時代とともに変わりつづける「みのおポスト」

当協会発足の翌年1993年から協会からのお知らせの英語版（4ページ）が隔月で発行された。これがTHE MINOH POST（みのおポスト）である。その後、市の生活情報が加わり、本格的な生活情報誌となった。2005年からやさしい日本語と英語の併記版となり、2008年から韓国・朝鮮語版、中国語版が加わり今に至っている。発行は偶数月の15日頃、発行部数は現在900部。

「もみじだより」などからの記事選別、日英語版編集、韓国・朝鮮語版及び中国語版の翻訳・レイアウト、印刷・発送を約20名のボランティアで行っている。長く日英語版編集員をしている浜内さんがグループコーディネーター。やさしい日本語の原稿作成や翻訳で仕事量は多く、ボランティアがやる場合、隔月発行が精一杯である。

最近、インターネットでは最新の情報が多くの言語で流され、多言語情報の状況は様変わりしているなか、隔月発行、4言語のみのおポストがまだまだ頼りにされている。ボランティアの人たち各々の熱意がそれを支えている。

みのおポストの価値

様々な多言語情報があるなか、浜内さんはみのおポストの価値を「インターネットに馴染めない人たちもいる。印刷物だと側に置いておけば何度も見て確認できる。紙媒体はコストはかかるが、それだけの価値はあると考える」と語る。

本誌の2023年9月号に「多言語情報発信に関する勉強会」の記事が出ている。そこではみのおポスト（印刷物）、みのお多言語ポータル（ネット情報）、Good Day みのお（ラジオ）について、外国人市民51名へ聞き取り調査をしている。結果はみのおポストが

一番よく知られ（全体の7割が知っている）、そして知っている人の85%は目を通してしている。調査対象者は日本語教室の人が多かったとのことだが、彼らは皆、みのおポスト、ネット情報に平等にアクセスできる立場であり、調査が示す数値はともかく、傾向は間違いない。

浜内さんは、編集方針について「外国人がその情報を知らなかったために、日本人と同じ行政サービスを受けられないことが無いように、必要な情報を提供する。加えて読んで楽しい情報誌をめざしたい」と語った。



苦勞のあれこれ

先行掲載：隔月発行のため最新情報が入らない。少しでもカバーするため前年の記事を参考に、少し先のお知らせを想定し、市に確認して掲載している。

コロナ情報：この3年はコロナ情報が最重要であった。「もみじだより」でなく市のHPで情報をこまめに確認し、最新の情報を掲載するように神経を使ったという。また、文面もより正確に、且つ余計な心配をされぬようによく練られている。編集員の波多野さんはみのおポストのコロナ記事は一つの成果として誇れるものと思うと語った。

レイアウト：編集員の小西アットウッド夏子さんは、読みやすく、読みたくなる紙面にするには、レイアウトに一工夫したいところであるが、記事が多くて紙面に余裕が無いのが悩みだという。

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会（MAFGA）

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp HP：www.mafga.or.jp

賛助会員数：290名 法人会員数：26団体（2023年9月15日現在）

英訳について：編集員の後藤田さんは、メンバーになった当初、一度使われた言い回しを日付だけ変えてそのまま使えば良いと言われた時もあった。状況が違えば以前の言い回しが最適とはいえない。英訳、やさしい日本語共に数学のように答えが一つではない。最近は新しい言い回しを皆で話し合いながら決められるようになって良かったと話した。

「外国人市民にきく」シリーズ

みのおポストには過去に生活情報以外に「日本文化紹介」などのシリーズが掲載されたことがあるが、2017年から「外国人市民にきく」がシリーズで掲載されている。小西アットウッド夏子さんが、みのお選抜美術展で木工作品の入選者になっていたイラン人の出展者と話したのがこのシリーズが生まれるきっかけとなった。これまで32名とのインタビューが掲載された。主婦、大学教員、レストランオーナー、牧師など多彩。編集方針の言う「楽しい記事」の一つだ。夏子さ

は「シリーズで紹介した人たちの同窓会をいつかしてみたい」と語っている。その最新のインタビュー記事を以下で紹介している。

取材を終えて

市の国際化指針にもあるが、行政サービスの提供とともに外国人市民には、日本人市民と同じように要望や意見を述べる機会が与えられなければならない。今回、この視点でのお知らせ記事がみのおポストに欠けていると感じた。市民が意見を述べられる制度の一つに（ブリックコメント（パブコメ）の制度があり、外国人市民も意見を述べるができる。外国人市民にとっては「言葉の壁」があるが、ここ数年、自動翻訳が進歩し、政策素案の翻訳や自分の考えを日本語に翻訳することが自動翻訳により比較的やり易くなっている。今後は、パブコメ制度の周知と、外国人市民に関係あるパブコメ案件の周知をみのおポストでも進めるべきと考える。今後の課題として提起しておきたい。（荻野）

みのおポスト「外国人市民にきく」

技能実習生イックファネズさんへのインタビュー

ENGLISH 한국·조선어 中文 日本語
THE MINOH POST
みのおポスト

みのおポスト
箕面情報

みのおポストの「外国人市民にきく」シリーズは興味深い。今回、本誌でシリーズの一編を紹介する。今、日本の労働力の一端を支える技能実習生たちはどういった教育、訓練、試験などを経て技能実習生になっているかがうかがえる。（荻野）

みのおポスト（2023年8-9月号）「外国人市民にきく」を、「やさしい日本語」のまま掲載しています。

なお、元の記事ではルビを振っていますが、この紙面上ではルビを省きました。（編集・註）



イックファネズ・ノエスクレインさん

イックファネズさんは、インドネシアのケブメンで生まれて育ちました。2023年3月に技能実習生になるために日本に来ました。茨木市の部品製造の会社で仕事を学んでいます。他の技能実習生といっしょに箕面市のアパートに住んでいます。仕事が休みの日は、日本語教室に行っています。このインタビューはその日本語教室で、全て日本語で行なわれました。その教室で日本語を教えているボランティアの人に質問の意味を確認しながら、丁寧に答えてくれました。（インタビューをした人：小西アットウッド夏子）

－日本で技能実習生になることを決めたのはいつですか？

専門学校で3年生のときです。18歳でした。そのころ学校の教科で日本語を勉強していました。日本語を勉強したので、日本に行きたいと思いました。日本のアニメも大好きでした。日本で技能実習生として学んで、インドネシアに帰ったら、良い仕事のチャンスがあると知っていました。日本語も話せたら、もっと良いです。だから日本で技能実習生になることを決めました。

－技能実習生になるための情報をどうやって知りましたか？

私の専門学校で教えてもらいました。「アイム・ジャパン」*1の技

能実習生プログラムです。私の専門学校の近くにある日本語学校から私の学校に情報が来ます。

－技能実習生プログラムに申し込んでから何をしましたか？

専門学校を卒業してから、その日本語学校で勉強をしました。それから、技能実習生になるための選考がありました。数学と日本語のテストと、運動と体のチェックでした。運動は3kmを15分より早く走れるかを見ました。体のチェックは刺青とピアスの穴がないかを確認しました。アイム・ジャパンの人やインドネシア政府労働省の人などの面接もありました。

－次は何をしましたか？

日本語と数学の勉強と、運動が続きました。日本語能力試験*2のN5を取らないといけませんでした。数学のテストと運動もできないといけませんでした。最後に健康診断がありました。全てに合格した人だけが、次の学校に行きました。その学校はジャカルタにありました。インドネシアのいろいろなところから、300人くらい集まりました。全員が寮に住みました。この学校でも日本語を勉強しました。朝5時に起きて走りました。腕立て伏せなどもしました。一つ目の学校よりも厳しかったです。ここで全てに合格した人だけが、日本にある次の学校に行くことができました。

ー日本に来てから何をしましたか？

日本語の勉強をしました。N4の勉強です。その学校は埼玉県にありました。そこに来たのはインドネシア人だけではありませんでした。ベトナム、バングラデシュ、フィリピンなどからも来ていました。この学校での勉強が終わったら、技能実習生になるところに行きました。

ー何か困ったときはどうしますか？

会社の部長に言います。私が病気になったときなどは、部長がアイム・ジャパンに連絡してくれます。部長も会社の他の人たちも良い人で助かります。今困っていることは、日本人たちと話したいけど話せないことです。恥ずかしいからです。

ーこれから技能実習生として日本に来ることを考えている外国の人たちに、何か伝えたいことはありますか？

日本での生活のために、日本語を勉強した方が良いと思います。

N4くらいはできた方が良いです。アイム・ジャパンのプログラムに入るなら、本気でないといけないと思います。技能実習生になるまでの訓練などが厳しいからです。でも私は訓練や日本語の勉強を頑張って良かったです。健康保険やその他の補償もついているので安心です。他にも技能実習生のプログラムはありますが、保険が無かったり、給料が低いことがあるので、よく調べた方が良いと思います。

【注記】*1「アイム・ジャパン」(IM Japan)：公益財団法人国際人材育成機構の略称。IMは英語名 International Manpower Development Organization Japanの最初の2語の頭文字。数百ある、技能実習生受入れの世話をする監理団体の一つ。

*2 日本語能力試験：日本語を母語としない人を対象に、日本語能力(読む・聞く)を測定し、認定することを目的としている。レベルはN5からN1まであり、N4は「基本的な日本語を理解することができる」、N5は「基本的な日本語をある程度理解することができる」というレベル。

「多民族フェスティバル 2023」、開催します！ 11月11日(土)は、小野原公園にあつまれ～っ

地域に暮らす人たちが、国籍やことば、世代などの「ちがいを」こえて、お互いを知り、多文化共生のまちづくりをすすめることをめざして開催している「多民族フェスティバル」。2022年のフェスティバルは、対面での開催としては3年ぶりとなった。飲食ブースについては見送ったものの、世界の遊び体験や雑貨物販、ステージパフォーマンスがあり、コロナ前のフェスティバルのにぎわいが戻った。

一方で、「せっかく多民族フェスティバルに来たからには世界の料理を食べたい！」という声も根強い。2022年のフェスティバルでも、「一日会場にいたが、会場内で食事が売っていなかったため、近隣のコンビニで昼食を買って食べた。仕方がないが、ちょっと残念な気持ち」というボランティアからの声もあった。そのような声を受け、

飲食ブースを復活させるべく準備をすすめてきたが、ここで新たな壁が立ちはだかることとなる。管轄する池田保健所の方針が変わり、露店営業許可を取得しているか、許可がなくてもよい品目(綿あめ、塩ポッソコーン、りんご飴など)で出店する必要があるというのだ。今までのフェスティバルでは、外国人市民グループや地域の団体(地区福祉会など)、市民ベースの国際交流団体が幅広く飲食ブースを出店し、食を通じた交流も魅力の一つだったが、保健所の突然の方針転換により、こうした魅力を維持することも難しい。

飲食ブースの再開に出鼻をくじかれたところではあるが、ベトナム出身のトゥエットさんが主宰する「多国籍料理研究会」は露店営業許可を申請し、牛肉のフォーを出店するべく動き始めている。そのほか、今回のフェスティバルは韓国風焼鳥やキューバのラザニア、インドのベジカレー、タイ風春巻きやトック(韓国のお餅)の屋台が出店予定。数に限りがあるので、お早めに！

小野原でのフェスは今年で8回目を数えるが、毎回違った挑戦がある。そのような裏事情はともかく、皆さまぜひお越しください！(坂口)



今年は
飲食もあるよ！



多民族フェスティバル 2023

日時：2023年11月11日(土) 10:00～15:00

場所：小野原公園 ※雨天時は多文化交流センター

主催：多民族フェスティバル2023実行委員会

問合せ：072-727-6912(協会) ※申込み不要

コラム
アートの小箱
 Vol. 14

多文化共生社会ってなんなんだ、と問い続け、アートの世界にその糸口を得た野崎ターラー(協会職員・アート活動家)による、不定期コラム。読者のみなさんにも、アートの世界に触れ、共生のヒントを感じてほしい。



フランス旅行記 パートII 「秘さない花」



↑詩を朗読する参加者。

初フランス渡航で、私は「ポエトリーリーディング」のイベントに出かけた。大会ではなく、日常のイベントだから会場も普通のカフェバーだ。三々五々に人が集まって来る。大半が常連なのだろう、慣れた様子で朗読する順番を決めている。20時からと聞いていたが、その時間になっても始まる気配はなく、みな酒を片手におしゃべりに興じている。

そろそろ予定の人が集まったのか、主催者が号令を出した。カフェバーの一角にスペースを設け、そこに今日の一番手が出てきた。そして朗読が始まった。私はフランス語が全くわからないので内容は一切理解できないが、声に物語があるのは十分わかる。その声につられて、聞いている観客の表情がゆるんだり引き締まったりする。3分、いや5分ほど経った頃に、彼の朗読は終わった。拍手がなる。終わったからなるのではなく、正当に彼の朗読に対する評価として拍手しているのがわかる。朗読者もやり切ったスッキリした表情で笑っている。司会者が簡単に今の作品を評しているようだ。そして、キャラメル味のキャンディーを朗読者に渡して、彼は座席に戻った。

次々と朗読者が前にでる。店にいるほぼ全員が朗読者だった(聴く専門の人もちろんいるが少数)朗読スタイルも様々で、歌うように読む人、実際に歌う人。フリをつける人、直立不動、ギターを爪弾いて読む人…、誰も飽きさせない。私も読むように言われた。日本語の詩は意味が分からないでしょう?と聞くと、それが何か?と言うような顔で返された。わかっている、言葉は意味だけではないのだ。

外の落書きと同じように、みな何かを発していた。それがわかるかどうかよりも、発することに意味がある。そしてそれを受け取る努力をする。わかればいいし、分からなくてもいい。コミュニケーションの豊かなやり取りを目の当たりにした。

秘すれば花、という言葉があるが、表現することを目一杯味わうパリの文化も、とても刺激的だった。(野崎)



↑参加者と野崎。

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科



おざわクリニック

診療時間	月	火	水	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	△	△	△	△	△

※診療開始 30分前から受付します。

■胃カメラは予約制です(□印)

■休診日:月・火・金・土曜午後、木曜、日祝日

■<http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/>

【住所】562-0023

箕面市衆生間谷西3丁目7-9シャトー野間1F

阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い

◎無料駐車場 有

072-730-0721



エスパー
 能勢

espero osaka

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間:金~月 11:00 ~ 17:00

<http://espero-osaka.com/>

箕面市国際交流協会の

多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912

(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時:火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法:来館、メール、電話

対応言語:日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所:箕面市立多文化交流センター

10月
October



comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火・木～土

9:30 - 11:30 朝カフェ
11:30 - 14:00 ランチ ¥950 * 売り切れ次第終了
14:00 - 17:00 午後カフェ

日・祝日 * ランチはありません

10:00 - 13:00 世界の朝ごはん ¥770 (ドリンク付)

おしらせ **MOOK 本完成!**

コムカフェ MOOK 本「世界をつまみ食い! 1つのカフェ×6つのしよく～食・触・職・色・織・ショック!？」が刊行されました。このMOOKには、10年以上に及ぶこのカフェのあゆみがギュッと一冊にまとめられています。

カフェに置いてありますので、手に取ってぜひ読んでみてください。お買い求めを希望される方は、スタッフまで直接お問い合わせください。

ス… スナック & スウィーツの日 **イ**… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	とようび	にちようび
						1 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00～13:00
2 休館日	3 コフさん 《タイ》	4 店休日	5 ス MAFGA スナック	6 金さん 《韓国》	7 フランクリンさん 《キューバ》	8 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00～13:00
9 ス MAFGA スナック	10 ノックさん 《タイ》	11 店休日	12 ス MAFGA スナック	13 ジェニーさん 《シリア & アルメニア》	14 ルーパさん 《インド》	15 とよみなフェスタ (P.7 参照) 出店のため店休日
16 休館日	17 ファルザナさん 《バングラデシュ》	18 店休日	19 ス MAFGA スナック	20 ス MAFGA スナック	21 阪大オクトーバーフェスト (P.7 参照) 出店のため店休日	22 ス MAFGA スナック
23 休館日	24 ノックさん 《タイ》	25 店休日	26 ルーパさん 《インド》	27 洪さん 《コリア》	28 フランクリンさん 《キューバ》	29 世界の朝ごはん 《香港》 10:00～13:00
30 休館日	31 ファルザナさん 《バングラデシュ》					

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きよ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで スマートフォン・パソコンからの参加申込みも可能です。
URL もしくは二次元コードからアクセスして、各イベントのページから申込みください!

【申込み先】

☎: 072-727-6912 FAX: 072-727-6920 <https://mafga.or.jp>



イベント情報	特に記載がないものは、箕面市立多文化交流センター で開催します。	
ライブ 10/10 (火) 18:00-20:30	Serdar Canan Concert 2023 ~クルドの歌と調べ~ トルコに暮らすクルド人は同化政策のもと、長らくクルド語もクルド音楽も禁じられてきました。箕面でクルド音楽が聴けるまたとない機会を、お見逃しなく。コムカフェによるクルド料理もつきます。 ◎セルタル・ジャーナン (クルド民謡研究家) ◎河崎純 (作曲家・コントラバス奏者)	場 所: comm cafe 定 員: 50名 (要申込み) 参加費: 一般 3,500円 (クルド料理含む) 賛助会員 / 22歳以下 2,500円
多文化体験 10/21 (土) 14:00-16:00	多文化体験・交流・学びクラブ まががっこ 地域に暮らす外国人市民との交流を通して、多文化を体験する連続講座。イラン、モンゴル、韓国、タイの文化やあそびが体験できます! ◎ファテメ・モタバリプール ◎ウルジー・パダラフ・オトゴンズレン ◎洪 恩淑 ◎中川 ナハラウィー	場 所: 講座室 定 員: 20名 (申込み順) 参加費: 無料 (要申込み) 申込み: 10/3 ~ TEL のみ。
セミナー 10/26 (木) 14:00-15:00	就職支援セミナー@大阪大学箕面キャンパス 「ひとこま」を開催しているスペースにて開催。就職に関することなら、なんでも相談可。今回は「履歴書の書き方」について。	場 所: 大阪大学箕面キャンパス3F ヒロテイ 参加費: 無料 (要申込み)
セミナー 10/28 (土) 15:00-16:30	Diversity Cafe 2023 ~多様性について考えよう~ 箕面市内 ALT をゲストスピーカーに招き、多様性について考えるひととき。今回のテーマは「あなたの代名詞、何ですか?」 ◎デヴォン パターソン (萱野北小 ALT)	定 員: 40名 場 所: comm cafe 参加費: 無料 (ワンオーダー制)



国際理解のための語学講座 後期受講者募集!

QRコード もしくは 協会ホームページから申込みフォームにジャンプ!
申込み先着順 (定員に達し次第受付終了) です。

講座名	場所	日程	時間	講師	定員	【レベルの目安】
① ショーンさんのせんは英会話 L-1	船場生涯学習センター	毎週水曜 (10/18~)	10:30-11:30	ショーン・ジョーンズ	10名	L-1 入門 L-2 初級
② マリナさんのせいなん英会話 L-2	西南生涯学習センター	毎週水曜 (10/18~)	10:00-11:30	東堂マリナ	15名	L-3 中級
③ マリナさんの日常英会話 L-2	多文化交流センター	毎週木曜 (10/19~)	13:30-15:00			ドナルド・ギャグナー
④ ショーンさんの日常英会話 L-1		毎週金曜 (10/20~)	13:00-14:30	ショーン・ジョーンズ		
⑤ ショーンさんのトピックで英会話 L-3		毎週水曜 (10/18~)	13:00-14:30		アレクシア・シルヴェストロ	
⑥ ドナルドさんのテーマで英会話 L-3		毎週金曜 (10/13~)	13:30-15:00	ロニー・マサリエゴス		
⑦ アレクシアさんのイタリア語 L-2		毎週水曜 (10/19~)	9:30-11:00		ロクサナ・ロペス	
⑧ アレクシアさんのイタリア語 L-3		毎週水曜 (10/19~)	11:15-12:45	ネルソン百合子		
⑨ ロニーさんのスペイン語 L-2		毎週水曜 (10/21~)	13:00-14:30		リザ・ミア・マキヤ	
⑩ ロクサナさんの子ども英会話 K-1		毎週水曜 (10/18~)	16:30-17:30	リザ・ミア・マキヤ		
⑪ ロクサナさんのせんは子ども英会話 K-1		船場生涯学習センター	毎週水曜 (10/19~)		18:00-19:00	10名
⑫ ネルソンさんの子ども英会話 K-2		多文化交流センター	毎週水曜 (10/18~)	17:30-18:30	10組	会員: 1,100円/回 一般: 1,650円/回
⑬ バヤンさんの親子でイングリッシュプレイタイム	船場生涯学習センター	第二・四水曜 (10/11~)	9:00-9:45	10組	※受講料は後期 (~来年3月) 分を全納	
⑭ ファテメさんの英語でベレシアンダンス	多文化交流センター	第二・四土曜 (10/14~)	17:00-18:00	10名		
⑮ リザさんのゲームでみにつく英会話クラブ		毎週土曜 (10/21~)	18:00-19:00	10名		

唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で40年の歴史~

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員

*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Diploma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才~80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より30M)
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの団体へお願いします。

フェスティバル

かやのお宝人權まつり

10/7 (土)
10:00-16:00

「であい・つながり・元気になろう」を合言葉に、だれもが参加できるおまつりとして、今年も開催します。協会関係では、日本語教室「萱野にほんご」、「箕面市立小・中学校英語指導助手 (ALT)」が出展予定。

場 所：らいとびあ 21
参加費：無料 (一部有料) ※申込み不要
主 催：かやのお宝人權まつり実行委員会

姉妹都市

箕面市・クエルナバカ市国際友好都市提携 20 周年記念イベント

Fiesta Mexicana (フィエスタ・メヒカーナ) 箕面

10/14 (土)
9:30-11:30

国際友好都市 20 周年を記念し式典を行うほか、豪華ゲストを招いてメキシコ文化を紹介するコンサートを開催します。先着 300 人には、滝ノ道ゆずる & モミジヌの 20 周年限定アクリルスタンドをプレゼント!

場 所：箕面市立文化芸術劇場大ホール
参加費：無料 (申込み不要)
主 催：箕面市クエルナバカ市国際友好都市提携 20 周年記念実行委員会

オープンクラス

T.E.S. にほんご オープンクラス

10/14 (土)
11:00-12:00

ふだん「T.E.S. にほんご」クラスで学習している日本語学習者が、日本語で母国の文化などを紹介します。ぜひ、聞きに来てください!

場 所：多文化交流センター 2F 講座室
参加費：無料
主 催：T.E.S. にほんご
申込み・問合せ：090-3928-0182 (前田)

フェスティバル

第1回 とよみなフェスタ

10/15 (日)
10:00-16:00

「豊川南小地区ふれあい納涼大会」が、時期を変えて帰ってきました! 出店や子ども向けのゲームコーナーも出ます。コムカフェも出店予定!

場 所：小野原公園
参加費：無料 (一部有料) ※申込み不要
主 催：とよみなフェスタ実行委員会

大阪大学

毎月第三木曜日

10/19 (木)
19:00-20:00

マンスリー多文化サロン「ラフマニフの魅力～生誕 150 年に寄せて」

大阪大学の教員が、諸外国・諸地域の文化や生活などを紹介。講座を通して、講師・市民の相互交流や多文化共生を目指します。今回は、ロシア語編です。*オンライン併用のハイブリッド開催です。
◎高橋健一郎 (大阪大学 人文学研究科 准教授)

場 所：大阪大学箕面キャンパス 1F 大講義室
参加費：無料
申込み：10/5 ~ 10/16 に HP、TEL で
<https://www.sfs.osaka-u.ac.jp/>
主 催：大阪大学外国語学部
申込み・問合せ：072-730-5013

大阪大学

10/21 (土)
13:00-16:25
(シンポジウム)

シンポジウム後 -19:00
(オクトーバーフェスト)

第 1 回大阪大学外国語学部・外国学専攻シンポジウム

「言葉を究めて世界へはばたく」 & オクトーバーフェスト

山極壽一氏、ウスビ・サコ氏による講演、複言語・複文化共存社会研究センターの紹介や活動事例の発表を踏まえたパネルディスカッションを行います。シンポジウムの後はオクトーバーフェストを開催します。コムカフェもホーショール (モンゴルの揚げ餃子) を出店予定! お楽しみに。
◎山極壽一 (総合地球環境学研究所長)
◎ウスビ・サコ (京都精華大学全学研究機構長)

場 所：箕面市立文化芸術劇場大ホール (シンポ) 大阪大学箕面キャンパス 3F ビロティ (オクフェス)
参加費：無料 (要申込み) ※飲食代別途
主 催：大阪大学外国語学部・人文学研究科外国学専攻
申込み：QR コードより



公演

態変 40 周年記念公演 「私たちはアフリカからやってきた」

10/27 (金)

10/29 (日)

身体障害者にしか演じられない身体表現を追究するパフォーマンスグループ「態変」の 40 周年記念公演。タイトルは、「態変」初海外公演がアフリカ・ケニアだったことから。主宰・金満里とゲストとのアフタートークもお見逃しなく! (10/28(土)13:30のみアフタートークがありません) 10/27(金)19:00 10/28(土)13:30/18:30 10/29(日)13:00 の全4回。

場 所：ABC ホール (大阪市福島区福島 1-1-30)
料 金：【前売】一般 4,000 円
障害者・介助者 各 3,500 円
25 歳以下 2,500 円 12 歳以下 1,000 円
【当日】一律 4,500 円
主 催：態変 <http://taihen.o.oo7.jp/>
申込み・問合せ：06-6320-0344

講演会

みのお中国文化に親しむ会 第 68 回講演会

「日本列島に漢字が伝来する以前から文字があった」

日本列島へ漢字が伝来する以前の古代日本にあったとされる「ヨシテ文字」について、深く掘り下げます。(後援：箕面市国際交流協会)
◎中山晴樹 (古代日本研究者)

11/2 (木)
14:00-15:30

場 所：箕面市立市民会館 (グリーンホール) 2F 大会議室 2
参加費：1,500 円 (大学生以下 750 円)
主 催：みのお中国文化に親しむ会
申込み・問合せ：072-722-6234 (市村)

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう!
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和 42~45 年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得

昭和 45~47 年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和 47 年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島 2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL <http://www.coupe-de-minami.com>

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

めろんへのご意見・ご感想をお寄せください。

いつも「めろん」をお読みいただきありがとうございます。「このテーマをもっと掘り下げてほしい!」「前回の掲載されていた記事面白かったよ」「めろんで取材にきませんか?」などなど、読者のみなさまからのご意見・ご感想を大募集中! info@mafga.or.jp までお寄せください。

編 集 後 記

京都市の北、岩倉に「^{じっそういん}実相院」というところがある。鎌倉時代に門跡寺院(江戸末期まで皇室とつながりのある人物が住職を務めた、格式高いとされる寺院)として紫野の地に開かれ、その後御所の近くに移されたが、応仁の乱の戦禍を避けるため、再び岩倉に移されたという歴史がある。

これからの季節、京都には清水寺や瑠璃光院など、紅葉の美しい華やかなスポットがたくさんあるが、私はひっそりと佇む実相院が好きだ。赤に染まる老木、黄に染まる若木の紅葉そのものを鑑賞することも素晴らしいが、丹念に磨かれた黒塗りの床に庭の紅葉が映える「床もみじ」は、息をのむ美しさ。品はあるが、決して華やかとはいえない佇まいも、奥ゆかしさやわびさびの心が表れているようで、私の心にぐっとくる。うまく表現できないが、つくられすぎていない感じや、生活感さえ感じる雰囲気も、どこかおばあちゃんの家のような、懐かしく温かい感じのする場所である。

「床もみじ」も素晴らしいが、新緑の頃の「床みどり」にもとても惹かれる。もともと新聞にカラー写真入りで掲載されていた「床みどり」の記事が忘れられなかったことが実相院を訪れるきっかけだった。「床みどり」の頃には、池の周りの木の枝に、綿あめのような卵の塊を産み付ける希少生物モリアオガエルが「カカッカッ」という独特の鳴き声で初夏の訪れを知らせてくれるそうだ。

京都の北へ向かうには、断然出町柳から叡山電車がいい。一両、あるいは二両編成で山奥へ向かって行くノスタルジックな感じがとても好きだ。例年11月には鞍馬線市原駅から二ノ瀬駅の間にある「もみじのトンネル」で紅葉のライトアップもおこなわれる。今からとても楽しみだ。

この秋、東山や祇園とは趣が異なる、静かで自然豊かな京都洛北へ、実相院へ、叡山電車であなたも出かけてみませんか?(中村由)

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
 - (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
	阪急石橋から JR茨木方面から	92

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋真佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、ツェレンダグワ ムンフバヤスガラン、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ:(公財)箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター

Tel: 072-727-6912 Fax: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp

HP: www.mafga.or.jp FB: facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル: http://portal.mafga.or.jp/